

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分県立二豊学園
------	----------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成26年10月30日、31日

③事業者情報

名称：大分県立二豊学園	種別：児童自立支援施設
代表者氏名：学園長 山本 浩二	定員（利用人数）32名
所在地：大分県大分市大字端登5番地	
TEL：097（596）1144	

④総評

◇評価の高い点

- 枠のある生活の中で子どもの人権を護りながら、子どもの自立に向けて支援している。学園での規則正しい生活が安心・安全感を育み、成功体験の積み重ねが自信となり、また、職員と共に生活することで大人との信頼関係が生まれてくる。
- 常勤の家庭支援専門相談員を配置し、家族との絆を大切にしながら、児童の健全育成や家庭環境等の調整を図り、家族再統合や家族の養育機能の再生を実現する。
- 施設の目的、基本理念に基づいて、児童の自立(自己選択、自己決定、自己責任)支援に取り組んでおり、全職員が「主人公は子どもたちである。」と認識している。
- 児童相談所等の関係機関と定期的に連携しており、特に出身校との情報の共有化は常に意識して取り組んでおり、その体制が整っている。
- 施設長がリーダーシップを発揮して、施設の運営理念が全職員に周知が図られている。

◇改善を求められる点

- 子どもたちの自立を支援するうえで、施設の職員と分校の職員間で子どもの情報の共有化を図り、一体的な支援に取り組むことを期待する。
- 家族関係が希薄化しているケース等においては児童相談所や出身学校などと連携しながら関係の再構築に取り組むことを期待する。
- アセスメントの定期的な見直しの時期を設定し、手順に沿って行うとともに、様式の中に子どもの強みや長所などを伸ばすための欄を設け、新しいことに挑戦する、努力する気持ちが養われるような取り組みが行われることを期待する。
- 寮や分校で子ども同士の不適切な関わりを未然防止し、もし問題行動が発生した時は、早期対応に取り組むことを期待する。
- 施設の中で、子どもの安全を脅かす事例を想定し、学園と分校が常に情報を共有して、組織的に安全対策に取り組むことを期待する。
- 職員体制は十分に確保されているが、特定の職員が課題を抱え込まないよう組織としてメンタルケアに取り組むことを期待する。
- 学園として、県内の他の児童養護施設等の先駆的な役割が発揮できるような連携づくりに期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を施設全体で取り組んだことで、日々の支援について見直す良い機会となりました。

よい評価をいただいた項目については、さらに充実できるよう継続して取り組み、指摘された項目については可能な限り改善を目指し取り組んでまいります。

第三者評価が評価で終わらないよう全ての結果を職員にフィードバックし、より質の高い専門性と職員の資質向上に努め、児童へのより適切かつ充実した支援に活かしていきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）